

### (3) 少子化を踏まえた子どもの学びと育ちについて

令和 8 年 3 月の「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議の議論のまとめでは、平成 27 年に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の基本的な考え方は引き続き、「広域化」「総合化」「現代化」の観点において更新されました。各市町村全体でその地域の未来を考える視点で検討することや、学習指導要領の改訂、GIGA スクール構想の推進等学校教育の状況が変化していることを踏まえ、それに対応した学校教育を考えていくことが重要であるとされています。

子どもの学びにおいては、中央教育審議会が令和 3 年に答申した「令和の日本型学校教育の構築を目指して」では、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現」が提言され、新たに学校における基盤的なツールとなる ICT も最大限活用しながら、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められています。

また、現行の学習指導要領では、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人間性を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている」とされています。

#### 名張市がめざす学校教育

名張市では、名張市教育大綱を令和 6 年 3 月に策定し、名張市総合計画「なばり新時代戦略」に則るとともに、名張市の目指す教育の実現に向けて重点的に取り組んでいく事項を基本方針として定められ、『変化をおこし、活力あふれ みんなでつくる 大好きなまち なばり』をめざすまちの将来像とし、施策目標の実現に向けて取組を進めています。

また、「なばり新時代戦略」と「名張市教育大綱」との整合を図りながら、子どもたちの教育環境を整えるため、これまでのビジョンの成果と課題を踏まえ、令和 8 年 3 月に新たな教育振興基本計画となる「第三次名張市子ども教育ビジョン」を策定し、「夢を育む子 心豊かな子 未来を創る子」をめざす「ばりっ子」のすがたとし、名張のめざす子ども像の実現に向けて、学校・家庭・地域・関係機関等が連携し、実効性のある施策・取組を推進しています。

#### ① 子どもたちに育みたい力

##### ・夢を実現する力

→ 一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、夢や目標の実現に向けて、主体的に人生を切り拓く力

##### ・豊かな人間性

→ 一人ひとりが、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な他者を理解・尊重し、共生していく力や態度

## ・社会を拓く力

→ 一人ひとりが、学校や地域社会の中で自分の役割を自覚し、人とつながり、高め合いながら、課題解決に向かう力

## ② 子どもの学びの在り方

### (教育面)

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現による学力向上および授業改善の推進
- ・各校区の実態や課題、地域の特色を踏まえた教育課程の編成や、取組を工夫した義務教育9年間において、系統性・連続性を重視した教育の推進
- ・複雑化・多様化する教育的ニーズに対応し、特別な支援を必要とする児童生徒や不登校児童生徒、外国につながる児童生徒など、個に応じた適切な支援が実施され、将来の社会的自立に向けた力を育む教育の推進
- ・多様な人間関係の中で他者と協調できる社会性を身につけ、社会の一員として、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育む教育の推進
- ・名張の自然や歴史、伝統・文化、観光・産業、人などから生き方を学び、社会や地域の発展に貢献しようとする思いや態度を育て、地域の「担い手」「創り手」の育成につながる教育の推進

### (学習環境面)

- ・子どもたちが、多様な考えに触れ、切磋琢磨することができる集団の確保
- ・グループ別活動や部活動、学校行事など、一定規模の集団を前提とする教育活動が成立する教育環境
- ・特別な支援を必要とする児童生徒や不登校児童生徒、外国につながる児童生徒など、複雑化・多様化する教育的ニーズに対応した、誰もが安心して学べる学習環境の整備
- ・ICTの活用等による、個別最適な子どもの学びの充実を図るとともに学びを止めない学習環境の整備
- ・経験年数、専門性、男女比率等、バランスのとれた教職員集団の配置
- ・安全で安心して通学することができ、快適に学校生活を送ることができる施設環境の整備

## 議論を進めるポイント

### 少子化を踏まえた子どもの学びと育ちについて

- ・子どもの実態をふまえ、子どもたちの学びとつけたい力
- ・子どもの学びの在り方（教育面、学習環境面の視点から）